

特集

看護師さんは

中学生

職場体験学習を実施しました

先月、当院の介護病棟で、北九州市立曾根中学校の2年生5名が職場体験学習を行いました。この職場体験学習は、平成16年に近隣の小・中学校からの依頼を受けて以来、早いもので3年目になります。

初日は、学生の方々も慣れない場所での体験ということもあり、患者さんにとのように接したらいいか分らず、戸惑う姿も見受けられました。しかし、入浴後に患者さんの髪を乾かしたり、お話をしたりとコミュニケーションを図っていくうちに、次第に笑顔が見え始め、楽しそうにしている様子でした。

体験学習後、学生の皆さんからいただいたお礼状には次のように書かれていました。

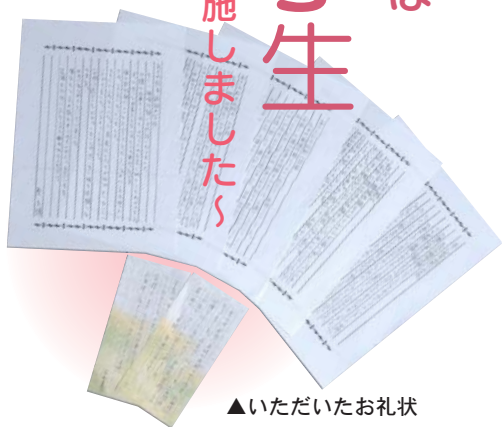


学生の皆さんから

・介護の仕事をしてみて、皆さんの大変さがとても分かりました。僕は野球部でいつもスポーツをやっているのに、1日目に帰ったときはくたくたになっていました。

・おじいちゃん・おばあちゃんと遊んだり、お話をしたり、お手伝いをしたりして、とても楽しかったです。

・実際に介護の仕事を経験するまでは、自分でもできそうだなと思っていま



▲いただいたお礼状

した。でも、実際に体験してみるとかなり大変だということが分かりました。

・今回の仕事を通して…(中略)…介護の大切さ、コミュニケーションの面白さを改めて実感しました。僕の祖父母にも、今回学んだことをいかして、もっと長生きして欲しいです。

・この体験は、必ず自分の役に立つと思います。良い経験をさせていただき、本当にありがとうございます。

担任の先生から

最初は自信のなかった子も二日間の介護で少し変化が出たのか、5名とも笑顔でその日のことをいろいろと話してくれました。若い頃のこのような体験は貴重なものだと感じました。

今後このような機会を通して、地域の方々との関わりを大切にしたいと考えています。



永松師長の

徒然草

第一話

レクリエーションを 楽しもう

1月と2月の2か月間、私は数人のスタッフとともに1週間に3回開催している集団レクリエーション(以下、集団レク)を担当することになりました。初めは「どんなものになるだろう」と不安の方が大きかったのですが、病棟や曜日ごとに参加人数を決め、レクリエーションの内容についても「集団で楽しむためには何が良いのだろう」「リハビリ体操を取り入れては？」など話し合いながら進めていきました。

「単なるリレーでは面白くないから、チームを作りませんか?」「チームのキャプテンも必要じゃない?」「チーム対抗にして勝敗をつけてはどう?」「ときには参加賞を出そうよ。」など

スタッフからの提案が次から次にあふれ出る、そんな話し合いを幾度となく繰り返したことを思い出します。

数人の参加者から始めた集団レクも、多いときには参加者が20人になることもありました。そして、歌の得意な患者様からの提案で、童謡や炭坑節などの大合唱で集団レクを終えることが今では恒例になっています。

まさに、これこそ患者さんと職員の間で、これこそ患者さんとの職員との共同作業による手作りレクリエーションだと言えます。最初は手が動かなかった方も周囲の声援により少しずつ手が動き始め、声が出て、表情が明るくなり、この時間を楽しみにしてくださるようになりました。

参加してくださった患者の皆さんはもちろんのこと、私たち職員も十分に楽しむことができた集団レクでした。「私たちが楽しめないレクリエーションを患者さんが楽しめるはずがない。私たちもレクリエーションを楽しもう。」を合言葉に頑張った2か月間、ご参加いただいた患者の皆さん、そして協力してくれたスタッフに深く感謝しています。

新任先生紹介



この春からあさひ松本病院に勤務することになりました笹栗毅和(たかみな)です。

平成元年に産業医科大学を卒業し、「放射線科学」「病理学」を専攻し、臨床各科において様々な疾患の診断に携わってきました。その経験の中から、病院を訪れる患者さんの問題を多面的・全身的に正しく把握し、適切に対処していく「プライマリケア」の重要性を認識し、その実践を志すようになりました。

地域の方々の信頼とともに適切な医療に欠くことのできない地域病院の先生方との連携・信頼を得ることができるよう努力していくつもりです。よろしく願います。

トピックス 食事から 季節

早朝5時前、厨房に明かりが灯り、食事の準備が始まろうとしています。通常より1時間早く作業を始めたこの日は3月3日、ひな祭りの日です。行事食の日は日頃よりも活気にあふれ、てきぱきと食事作りが進んでいきます。



を感じて
みませんか?



メインメニューは「ちらし寿司」。木の芽や菜の花、筍など春の食材が盛りだくさんです。食事委託業者のスタッフは、管理栄養士や栄養士、調理師、調理員の9名で構成されており、「患者さんの信頼と満足を得る心」こもった食事サービスを提供する」をモットーに患者さんの嗜好に合わせ、食事を美

味しく召し上がっていただけるようにと日々頑張っています。また、今年からは「治療食の患者さんも食事を選ぶように」と選択メニューを用意しました。桜の開花に合わせて、恒例になった「花見弁当」も企画しています。どうぞ、お楽しみに☆

通所リハビリテーション日記

笑顔で生きる

レクリエーションの効能2

今回も前回に引き続きレクリエーションのお話です。

前回ご紹介したようにレクリエーションの目的は、参加することで「人とのつながり」を築き、「楽しみ」や「生きがい」を感じていただくことです。「楽しみ」や「生きがい」を感じることが物事に対する意欲を引き出し、生活の活性化につながると言われています。



通所リハビリテーションで日頃行われているレクリエーションは、集団で行うものがほとんどで、参加者

全員が一緒に楽しむことができます。例えば「風船バレー」では、上手にできる方ではない方をフォローし、上手できない方も一緒に楽しむために頑張つて体を動かします。その結果、参加された方たちの交流が自然と芽生え、一体感が生まれてくるのではないのでしょうか。

今回はこの交流をもっと深めようと、通所リハビリテーションの方々と入院されている方々との合同レクリエーションを行いました。「人のつながり」が広がるとともに通常とは異なる楽しさを感じていただけたのか、普段とは心なしか違う笑顔を見ることができました。



居宅介護支援事業所を開設しました。(相談室)

場所／当院1階(通所リハビリテーション室の横)
活動内容／在宅療養のサポート・介護療養施設への入所のサポート
・介護保険に関するサポート

連絡先／093-474-3358 居宅介護支援事業所長(ケアマネージャー) 徳永美鈴

お気軽に
お立ち寄り
ください。

誠意・信頼・安心

- 1・患者さんの意志と権利を尊重した医療の提供
- 2・患者さんと医療情報を共有し、患者さん本位の誠実な医療の推進
- 3・質の高い医療を提供するために職員の教育・設備の安全・保守管理の徹底
- 4・患者さんが継続して、一貫した受診が出来るよう地域医療機関との緊密な連携